

第2回高知県南海地震対策行動計画検討会 主な意見一覧(要旨)

NO	ページ (資料2)	該当項目	意見内容
1	全体		行動計画は県民に周知するのが目的か、それとも行動を実際にする人に理解してもらうのが目的か。それによって書き方が変わるが。
2	全体		市町村に対策を求められているものの中で、ソフト対策についてはおおむねできるのかなという印象を持っているが、ハードが問題、特に耐震化が難しい。
3	全体		現状について、全く載せようが無ければ「一」でいいが、現状やっている事については他団体の行動でも載せてはどうか。
4	全体		行動計画の全体ボリュームがかなりあるので、より重点的な具体的取り組みを表示してもいいのでは。
5	P4	②連携と役割分担による南海地震対策	4ページにある連携と役割分担による南海地震対策ということで、いろんな団体が役割を果たしている。いろんな観点で自主的に救援活動に入るといって訓練も行っている。こういうことについて資料をどこかつけてもらえば、こういう関係団体の動きがわかりやすいのでは。全てというわけにはいかないだろうが。
6	P7	行動計画に基づく取り組み等の推進による被害の軽減及び早期の復興の効果(イメージ図)	7ページの図について、もうちょっと分かりやすく工夫を。よくBCPの概念を説明する図をイメージしていると思うが、被害を縦軸に取るよりは、都市機能や日常性を縦軸にとった方がいいのでは。
7	P7	"	一般の方が見た時に「備え」と「準備」の違いが分かりにくい。定義が分かりにくいので説明があったほうがいいのでは。
8	P7	"	7ページの図は、災害の関係の学会で良く使われる図ではある。今後各地域や職域でマニュアルを作る時に使われる図となるであろうから、分かりやすくする必要はあるが、せめてカラーにしてはどうか。 マニュアルは表・裏1枚で限度。それからすると、これでも説明が多すぎる。
9	P13	10 下水道施設の地震対策の促進	下水道の項目に、市町村など関係団体への働きかけや協力・調整の一文を入れ、実際にやっていただければ。
10	P18	19 津波避難計画の作成の促進	海岸線の避難路案内板の確認で1km歩いたが、2枚しかなかった。堤防が埋まっている部分などもあるので、県としても、地域の確認をぜひやる必要があるのでは。
11	P19	21 津波からの避難路・避難場所等の確保	小中学校が避難所となっているが、校舎の外付け階段については国等の補助の予算に含まれないので、市町村の持ち出しとなり大変な負担となる。こういうものに対して支援は可能か。

NO	ページ (資料2)	該当項目	意見内容
12	P25	34 県における 応急活動体制の 整備	災害対策本部の機能強化について行動計画に書き込めないか。
13	P27	41 市町村防災 行政無線の整備 の促進	防災行政無線をメインにしているが、基地局自体が破壊されるとまったく情報が(支援側に)入らない。ヘリコプターで観察するしかない。ひとつはお金がかかるが衛星の通信システムを各孤立予想区域で持つというのが究極の対策。
14	P29	47 広域火葬の 実施体制の整備	条例をつくる際にも深く踏み込めなかった点だが、死者の予想が9627名を出しているあとに、遺体に対するプロセスが触れられていない。県全体に関わってくる優先順位の高い項目。夏場で3日、冬で1週間から10日が限度で非常に深刻な問題なので、準備しておくべき。
15	P31	52 災害時の医 療救護活動体制 の整備	災害医療の確保は、関係者でないと分かりにくい。もうちょっとボリュームを増やして具体的な説明をしてはどうか。
16	P32	54 トリアージへ の県民理解の促 進	トリアージという用語が非常に住民に十分理解していただけない。トリアージを防災訓練でいっしょにやるのも問題があるとの意見が非常に多かった。トリアージの啓発もまだまだこれから。
17	P38	66 県民への情 報提供・啓発の 推進	具体的取り組み66番に入れた「高知県南海地震に強い地域社会づくり条例」のURLは、3ページに入れた方がいい。
18	P38	”	災害をいろんな形で知ることが大事。自分で動ける方は消防学校へ行けるが、住民全体が体験できるよう現在1台である起震車をあらたに2台導入することを進めて欲しい。
19	P40	72 事業者にお ける事業継続計 画(BCP)の作成 の促進	ISO14000シリーズやエコアクション21など、入札の際に評価の点となる等、また次世代育成では国の認定と、県の認証といったちょっとハードルを下げたものがあるので、同様にBCPを進めていってはどうか。
20	P42	77 自主防災組 織の活性化の促 進ほか	教育訓練について、消防学校で一日震災訓練をしていたが、3回開催されていたのが1回になっている。回数を増やしては。
21	P53~P57	参考資料6 本計 画で使用する用 語の説明	用語集については、例えばトリアージの所に何ページに説明があるというのを入れた方がいい。読む方は最初から読んでいくので、最後になって用語集があることに気づくことになる。